



第36回定期総会資料

千葉の会の25年度の活動実績と 今後の課題

会場：船橋市勤労市民センター

2026年5月10日(日)

千葉骨髓バンク推進連絡会

会長 梅田 正造



千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介①

私たち「**千葉骨髓バンク推進連絡会**」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、**ドナー登録の推進**や**日本骨髓バンク**を支援する活動を行っているボランティア団体です。また、**造血幹細胞移植医療体制の充実**を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて**正しく理解**して頂くための**普及活動**も行っています。

当会は、**91年2月**に結成され、現在に至っています。会員は患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。そして一人でも多くの患者さんとその家族が**笑顔を取り戻す日**が来るように、医療講演会・相談会及び「**コンサートと落語会**」の開催、イベント等での宣伝活動、ドナー環境向上のために**ドナー助成制度**及び**ドナー休暇制度**の関係機関への導入要請、千葉県のドナー登録者**2万5千人**を目標に**献血併行登録会**の開催、パンフレット・会報の発行による**社会啓蒙活動**、**ケア帽子**の病院への寄贈、「**いのちの輝き展**」開催などを行っています。**25年度に設立35周年**を迎えました。

また、千葉県の公的機関である**千葉県造血幹細胞推進協議会**にボランティア団体の代表として参加しています。



千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介②

活動内容

- 定例会
毎月第1日曜日に船橋市市民活動サポートセンター(船橋駅前フェイス5階)にて定例会を開催しています(総会は5月)
- ドナー登録会
日本赤十字社献血会場での併行登録会に協力(県市町村役場、大学、ショッピングセンター、企業、募張メッセ、健康祭り、イベントなど)
- 普及啓発活動
 - ①ドナー登録会での普及啓発
 - ②チャリティコンサートと落語会の開催
 - ③会報の作成と各団体、医療機関等への配布
 - ④「あやちゃんの贈り物展」、「MAMOのメッセージ展」、「いのちの輝き展」等の開催
 - ⑤アクアラインマラソン、県内各地の健康祭り、イベント、企業祭り等でのPR活動
 - ⑥街頭キャンペーン
10月強化月間、各種記念キャンペーン、キャラバン
 - ⑦ポスターの掲示、チラシ・ティッシュの配布、募金箱の設置、報道機関へのイベント掲載依頼
- 各種団体への支援要請
 - ①県、市町村、千葉県赤十字血液センターへのドナー登録促進要請
 - ②ロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所等への支援要請
- ドナー支援
骨髓移植ドナー支援事業、ドナー助成金制度・ドナー休暇制度導入を県市町村、事業者団体等に働きかけ
- 患者支援
 - ①白血病フリーダイヤルへの相談員派遣
 - ②患者家族向け小冊子の配布
 - ③全国骨髓バンク推進連絡協議会に設置されている患者支援基金の紹介
 - ④患者さん用ケア帽の作製と病院への寄贈



始めてみませんか

ボランティアとしてどなたにでも出来る事がいろいろあります。
“骨髓バンク=登録”だけが全てではありません。さあ、あなたも出来る事から始めてみませんか。

会員になる

年会費：3,000円(学生1,000円)

定例会は、毎月1回開催

会員の方には、活動報告やイベントのご案内を掲載した会報を随時郵送致します。

現在、会員数約40名

参加する・PRする

何かやってみたくなったらお気軽に声を掛けて下さい。例えば、イベントでのティッシュ配りなど少しでもお手伝い頂ければ助かる事が色々あります。

参加することで新たな交流も生まれます。

日常のPRの一環として、骨髓バンクのポスターやパンフレット、患者支援募金箱を、あなたの会社や学校、お店や事務所などに置いて下さいませんか。

募金する

ボランティア団体として地域に根ざした積極的な活動を進めるため、資金面でのご協力を募ります。当会の運営は、会費と皆様からのご寄付によって支えられております。

【郵便振替】00160-6-547168

千葉骨髓バンク推進連絡会 へて

切手、はがき(書き損じ可)などによるご寄付もお受け致します。

相談する

(主催：認定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会)

患者さんや家族のための窓口です。

毎週土曜日 10時～16時

白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

(第2・第4週は血液内科専門医も相談に応じます)

千葉骨髓バンク推進連絡会

白血病などの血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進やドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。



〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方

TEL/FAX 043-497-5083

<http://www.marrow.or.jp/chiba/>

郵便振替口座 00160-6-547168

ゆうちょ銀行 店番019-0547168





千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介③

愛と善意を結集した すばらしい骨髓バンクを 築くために

私たち「千葉骨髓バンク推進連絡会」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進や、ドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。

また、造血幹細胞移植医療体制の充実を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて正しく理解して頂くための普及活動も行っています。

当会は平成3年2月に結成され、現在に至っています。会員は、患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。

一人でも多くの患者さんとその家族が笑顔を取り戻す日が来るように、千葉県のだナー登録者2万人を目標に活動しています。

普及啓発グッズ

キティのポケットティッシュ



骨髓バンク登録記念 3色ボールペン



スノープーク (代々木公園)での登録会 (11月)



野田夏祭り羅り七夕 (8月)



イオン柏店幸せの黄色いレシートキャンペーン



成田市でのチャリティコンサートと講話会 (11月)



ケア帽子の作成と寄贈



環状駅伝 (1月)



船橋フェイスタでの定例会 (第1日曜日)



全国キャラバン 習志野市役所 (6月)



東武マセフリーマーケットでの登録会 (6月)



アクアラインマラソン (10月)



亀田総合病院での東のまき草植樹



「友情秋のバラード」での支援活動

ドナー登録受付は、千葉県内の下記献血ルーム及び献血会場でできます

献血ルーム	電話番号	住所	定休日
モノレールちば駅献血ルーム	043-224-0332	千葉市中央区新千葉1-1-1 千葉都市モノレール千葉駅構内	年末年始
運転免許センター献血ルーム	043-276-3641	千葉市美浜区浜田2-1 千葉運転免許センター内	※1
津田沼献血ルーム	047-493-0322	船橋市前原西2-19-1 津田沼パルコB館6階	年末年始※2
献血ルームフェイス	047-460-0521	船橋市本町1-3-1 Faceビル7	年末年始
松戸献血ルームPure	047-703-1006	松戸市松戸1307-1 松戸ビル1階	年末年始
柏献血ルーム	04-7167-8050	柏市柏2-2-3 榎本ビル5階 (1階みずほ銀行)	年末年始

※1 毎週土曜日、祝日、12月29日～1月31日 ※2 商業施設の休館日

骨髓バンク登録についてのお問い合わせは (公財) 日本骨髓バンクへどうぞ 03-5280-1789



千葉骨髓バンク推進連絡会の活動

1. 骨髓ドナー登録推進

- ①献血併行型登録会開催(説明員派遣)
- ②ドナー登録説明員の養成(研修会開催)

2. 普及啓発活動

- ①「コンサートと落語会」の開催
- ②「ちばアクアラインマラソン」での活動

3. 患者・家族の支援活動

- ①ケア帽子の作成、寄贈
- ②医療講演会、患者相談会開催
- ③フリーダイヤルに相談員派遣

4. ドナー支援活動

- ①ドナー休暇制度の促進活動
- ②ドナー助成制度の促進活動

5. 広報

- ①「いのちの輝き展」開催
- ②会報の発行

6. 講演、勉強会

- ①団体、学校等での講演
- ②ブロックセミナー参加



全国骨髄バンク推進連絡協議会

特定非営利活動法人・**全国骨髄バンク推進連絡協議会** (略称: 全国協議会) には、日本全国で骨髄バンク推進のために草の根運動を展開している**ボランティア団体が会員として加盟**しています。

その加盟団体は主に都道府県単位で一つの団体を構成しています。**2026年4月現在の加盟団体数は31団体、協力団体は36団体**です。

全国協議会も**25年度に設立35周年**を迎えました。



渋谷俊徳 会長
(25年5月就任)

千葉骨髄バンク推進連絡会（千葉の会）は、**全国骨髄バンク推進連絡協議会の会員**です。**千葉の会の会長 梅田正造**は、**全国協議会の理事長**を務めています。



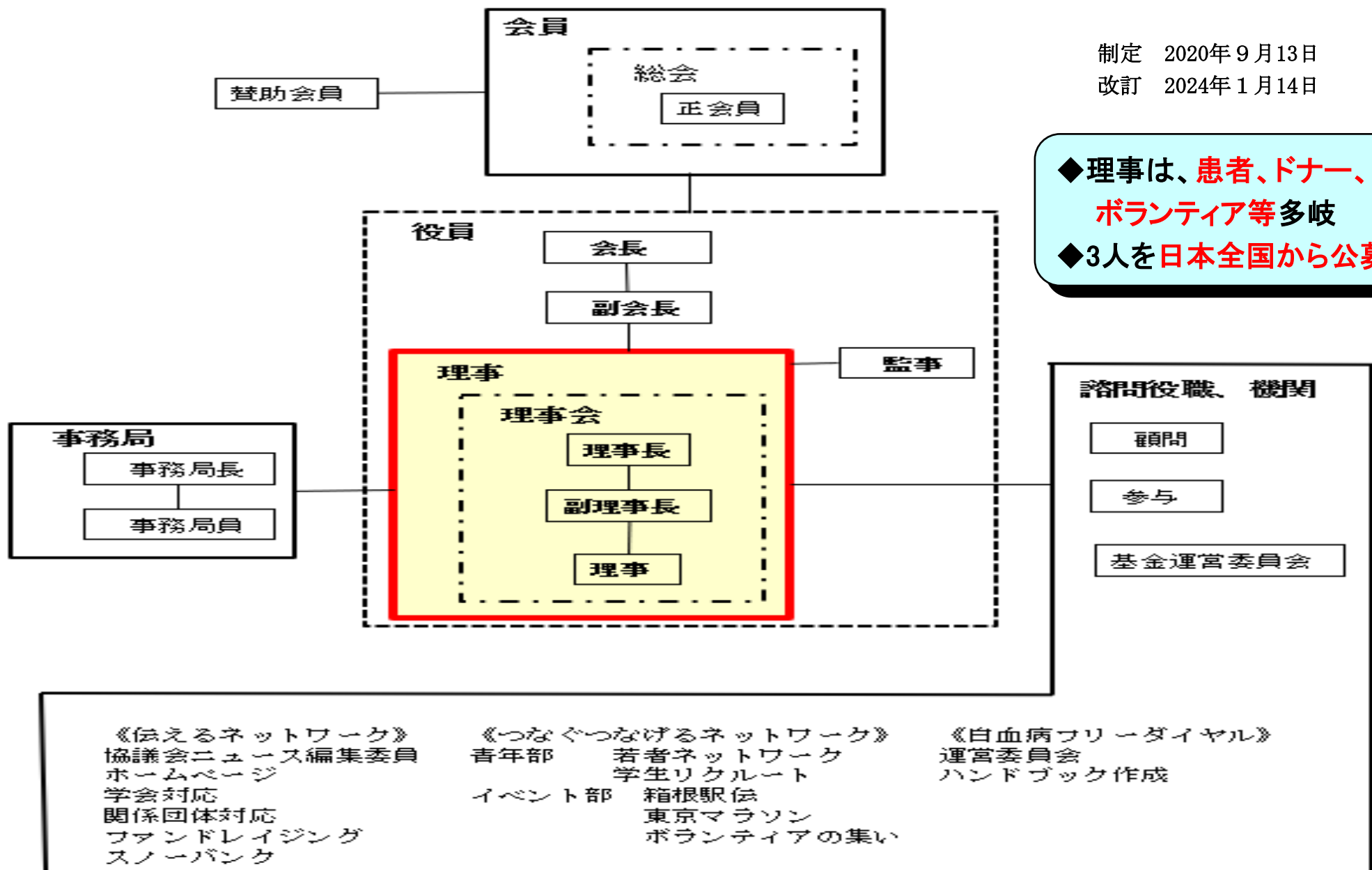
梅田正造 理事長
(23年7月就任)
千葉の会会長



全国協議会の組織図

制定 2020年9月13日

改訂 2024年1月14日





第13期 全国協議会の役員、顧問、参与

2025年5月～2027年5月

- 会長 : 渋谷俊徳
- 副会長 : 大谷貴子、田中重勝
- 理事長 : 梅田正造
- 副理事長 : 村上忠雄、山村詔一郎、浅野祐子、北折健次郎
- 理事 : 若木換(事務局長)、齊藤千秋、菅早苗、笠原千夏子、
館野守男、鈴木敏生、山口明大、内藤真澄、川下勉
- 監事 : 黒部光司、笠原慶一
- 顧問 : 岩城光英、鎌田薫、谷口修一、東井朝仁、
野村正満、陽田秀夫、伊賀保夫
- 参与 : 畠山茂房、野平晋作、片岡智一

2026年3月15日の理事会で若木副理事長 → 理事(事務局長兼務)

第13期理事、監事(25.5～27.5) 第190回理事会(初理事会) 25.7.27

2025年5月～2027年5月



北折副理事長
(愛知)



若木副理事長
(東京)



笠原監事
(埼玉)



山口理事
(徳島)



齊藤理事
(北海道)



黒部監事
(神奈川)



梅田理事長
(千葉)



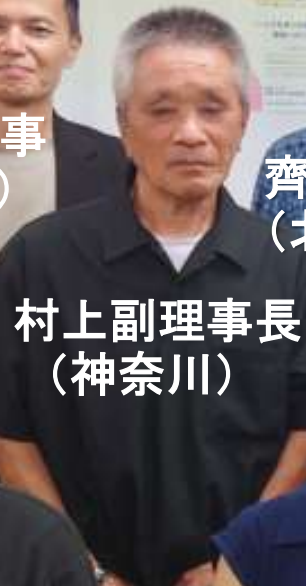
川下理事
(石川)



鈴木理事
(岐阜)



館野理事
(埼玉)



村上副理事長
(神奈川)



山村副理事長
(奈良)



浅野副理事長
(大阪)



菅理事
(秋田)



笠原理事
(長野)



内藤理事
(福岡)

2026年3月15日の理事会で若木副理事長 → 理事(事務局長兼務)



全国協議会と骨髓バンクの歩み

- ◆1987年12月 骨髓バンク設立を求める運動を開始
- ◆1989年9月 **民間の東海骨髓バンク設立と骨髓移植実施**
- ◆1990年6月 13団体加盟で全国協議会発足
- ◆1991年12月 **公的骨髓バンク設立** (骨髓移植推進財団、現日本骨髓バンク)
- ◆1993年1月 公的骨髓バンクによる第1例目の骨髓移植実施
- ◆1995年9月 **佐藤さち子患者支援基金を創設**
- ◆1996年7月 白血病フリーダイヤルで患者電話相談を開始
- ◆2010年4月 全国協議会、認定NPO法人資格取得
- ◆2013年1月 **志村大輔基金を創設**
- ◆2013年11月 **こうのとりのマリーナ基金を創設**
- ◆2019年2月 ドナー登録者 50万人達成
- ◆2020年12月 骨髓移植 25,000例達成
- ◆2021年3月 さい帯血移植20,000例達成
- ◆**2023年2月 骨髓移植、さい帯血移植50,000例達成**
- ◆**2025年6月 全国協議会設立35年**



全国協議会の7地区ブロック





全国協議会の活動内容

1. 骨髓ドナー登録推進支援活動と普及啓発活動

2. 患者・家族の支援活動

- ①病気情報ハンドブックの発行・配布
- ②白血病フリーダイヤルの設置・運営
- ③患者支援基金による経済的助成活動
(今回のクラウドファンディングに関係)

3. ドナー支援活動

- ①パンフレットの配布
- ②ドナーサポートダイヤルの設置・運営
- ③ドナー休暇制度、ドナー助成制度の促進活動

4. 骨髓バンク及び医療充実の要望活動



患者支援基金による経済的助成活動①

- ◆当協議会は**血液難病の患者さん**を経済的に支援する**3つの基金**を運営しています。
- ◆**2025年度は延べ168人**の方に、**総額13,219千円**の助成を行いました。

佐藤きち子記念造血細胞 移植患者支援基金

♥骨髄移植にどのくらい費用がかかるか不安でしたが基金のおかげで**費用の面で安心**して移植を受ける決心ができました。
(患者さんの夫)

志村大輔基金 (分子標的薬・精子保存支援)

♥思春期の息子に**精子保存**の話をするのはとても勇気のいることでした。でも、しなくてはならないと思い、話し合いました。息子は「将来後悔したくない」この言葉で前に進むことができました。必ず回復すると思っています。前へ前へ気持ちも明るく進んでいきます。
(患者さんの母)

こうのと里マリーン基金 (未受精卵子保存支援)

♥子どもの病気で必要な**卵子採取**に対し保険が適用されないのは残念でしたが、このような助成がある事を聞き、本当に助かりました。多くの方がこの助成の事を知り、困っている方が少しでもお金の面で助かります様に…
(患者さんの母)



患者支援基金による経済的助成活動②

佐藤きち子記念造血細胞 移植患者支援基金



1995年9月～2026年3月末
累計助成416件、106,658千円

志村大輔基金 (分子標的薬・精子保存支援)



2013年1月～2026年3月末
累計助成1,075件、52,716千円

こうのとりのマリーナ基金 (未受精卵子保存支援)



2013年11月～2026年3月末
累計助成45件、7,663千円



病気情報ハンドブックの発行・配布

◆病初期の患者さんとご家族向けの**ハンドブック「白血病と言われたら」**の改訂第7版を**2025年に発行**しました。上巻と下巻の構成になっています。

ホームページ(<https://www.marow.or.jp/>)から**ダウンロード**できます。

1999年8月初版発行、第7版までの累計発行数59,000セット、総ダウンロード数11,191件



上巻「白血病と闘おう」

これから白血病と闘うために必要な情報を多岐にわたり掲載

A4サイズ 184ページ フルカラー

下巻「血液の病気を知ろう」

血液の病気についてさらに詳細な解説や治療法について掲載

A4サイズ 272ページ フルカラー



白血病フリーダイヤルの設置・運営

◆血液疾患患者さんとそのご家族のために、患者電話相談窓口「**白血病フリーダイヤル 0120-81-5929**」を**1996年7月**から開設しています。 2026年3月末までの受付相談累計 9,426件

白血病フリーダイヤル

やまい こくふく

0120-81-5929

毎週土曜日
午前10時～午後4時

※毎月第2・第4土曜日は
血液専門医も
ご相談をうかがいます。

♥「白血病フリーダイヤル」のおかげで**今の僕**があります。(患者)

♥ 私が患者だった時、なぜここに行きつかなかったのだろうと今更ながらに思います。誰かに聞くのも恐ろしくて、ネットばかり眠れぬ夜にひとり検索していました…。病院で「こういうのがあるよ」と看護師さんや先生に一言教えてもらえたら良かったな、と思います。**生の声ほど心強い**ものはありません。ひとりでも多くの患者さんに伝わると思います。(患者)



ドナーさんへのサポート

◆ドナーサポートダイヤルの設置・運営

骨髓バンクのドナー(希望者・登録者・候補者・経験者)が抱える
様々な疑問について、事務局でお受けしいてます。

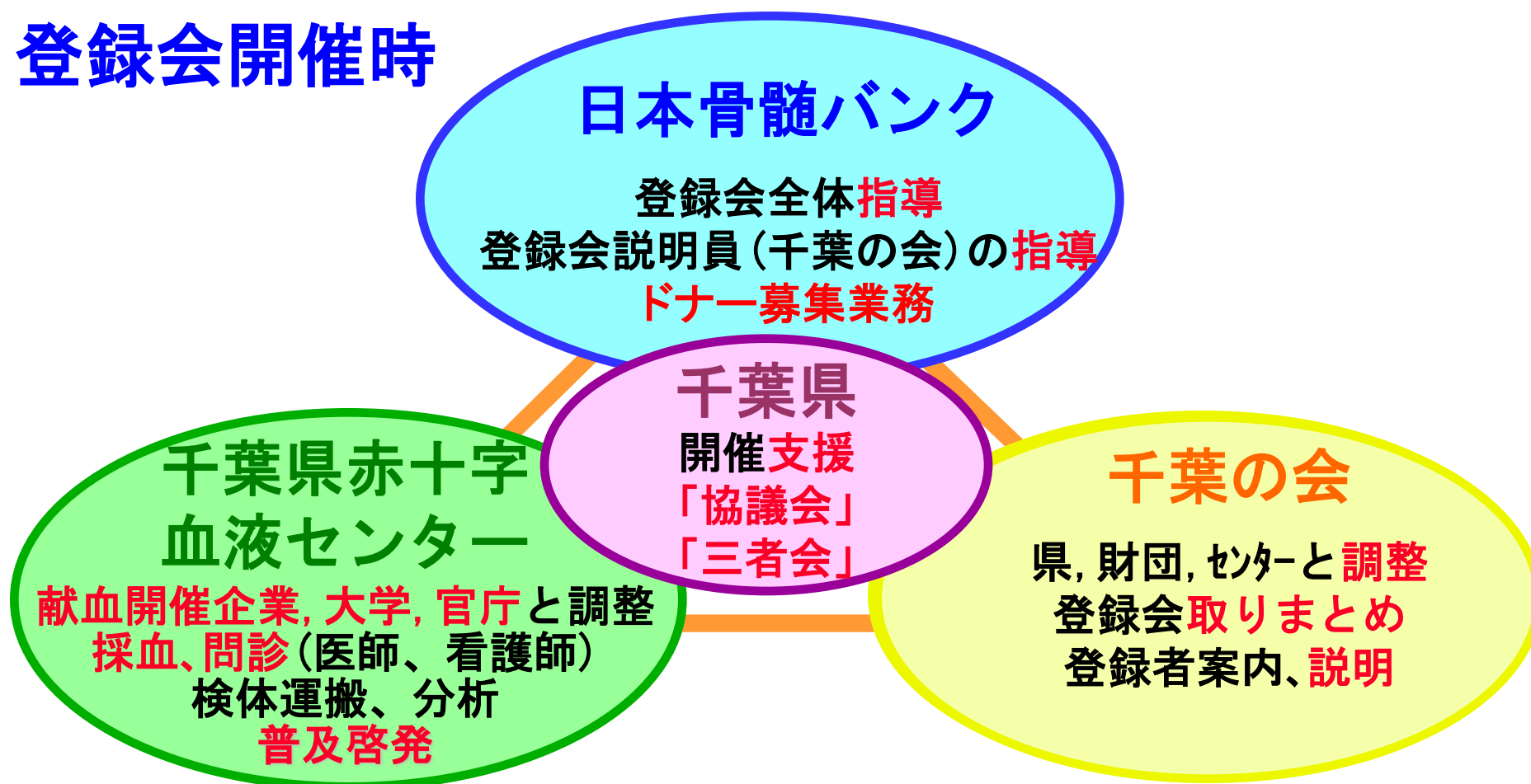
0120-892-106

相談の受付日時: 月～金曜日 10:00～17:00 (祝日等を除く)



日本骨髓バンク、血液センター、県、千葉の会の関係

登録会開催時



「協議会」：千葉県造血幹細胞移植推進協議会 1回／年

「三者会」：千葉県（薬務課）、千葉県赤十字血液センター、千葉骨髓バンク推進連絡会（千葉の会）の実務打合せ会議 1～2回／年



25年度の活動実績総括

2024年度千葉の会は、第一生命保険（株）が1950年に創設した権威ある「**保健文化賞**」（第76回）を受賞しました。この賞はわが国の**保健衛生向上**のために役に立ちたいとの思いから、同社が保健衛生の分野で立派な業績と長年にわたり労苦をされた団体・個人に「**感謝**」と「**敬意**」を捧げるために創設したものです。

2025年度千葉の会は、**骨髓バンクへの支援活動**を会員一同で継続しています。

◆25年度の千葉の会の主要行事

- ①**骨髓バンクチャリティ「コンサートと落語会」**開催(25.11.24)
- ②全国協議会の「**東京マラソン2024**」当日の支援(25.3.3)
- ③「**東京マラソン2024**」のチャリティランナー支援活動(25.2.27～3.1)
- ④幕張メッセでの「**フリーマーケット**」(25.5.3～5)、「**東京オートサロン**」(26.1.10、11)での普及啓発と献血併行登録会
- ⑤「**いのちの輝き展**」を県内11カ所で開催。
- ⑥**三者会**(25.7.9)

◆千葉県主催の「**ドナー登録説明員養成講座**」の4回目が、12月11日(木)ホテルプラザ菜の花で開催され、11名が受講。この内10名が**説明員資格手続き**を行った。

◆**ドナー助成制度**は、23年度に54市町村すべてが**導入済**となった。**ドナー休暇制度**導入活動は、**首長、県市町議会議員**に本年度も支援を要請した。

◆11月8日(土)、9日(日)、代々木公園での**東京雪祭**会場で登録会を関東4団体と共催。**登録者49名、献血者357名**だった。

◆**ケア帽子**は、日赤奉仕団の方々の支援を受け順調に作成し、逐次**寄贈**した。

◆**献血併行型登録会**は、23年度**397回**。24年度**394回**。25年度**374回(東京雪祭2回含む)**。



骨髄バンク／日本の現状

◆日本では毎年新たに**約1万人**の方が、**白血病**などの**血液疾患**を発症しています。

◆そのうち**日本骨髄バンク**を介する**移植**を必要とする患者さんは、毎年**約2,000人以上**です。

◆日本のドナー（骨髄提供者）の登録者は
26年3月末で **564,155名**（千葉県22,985名）

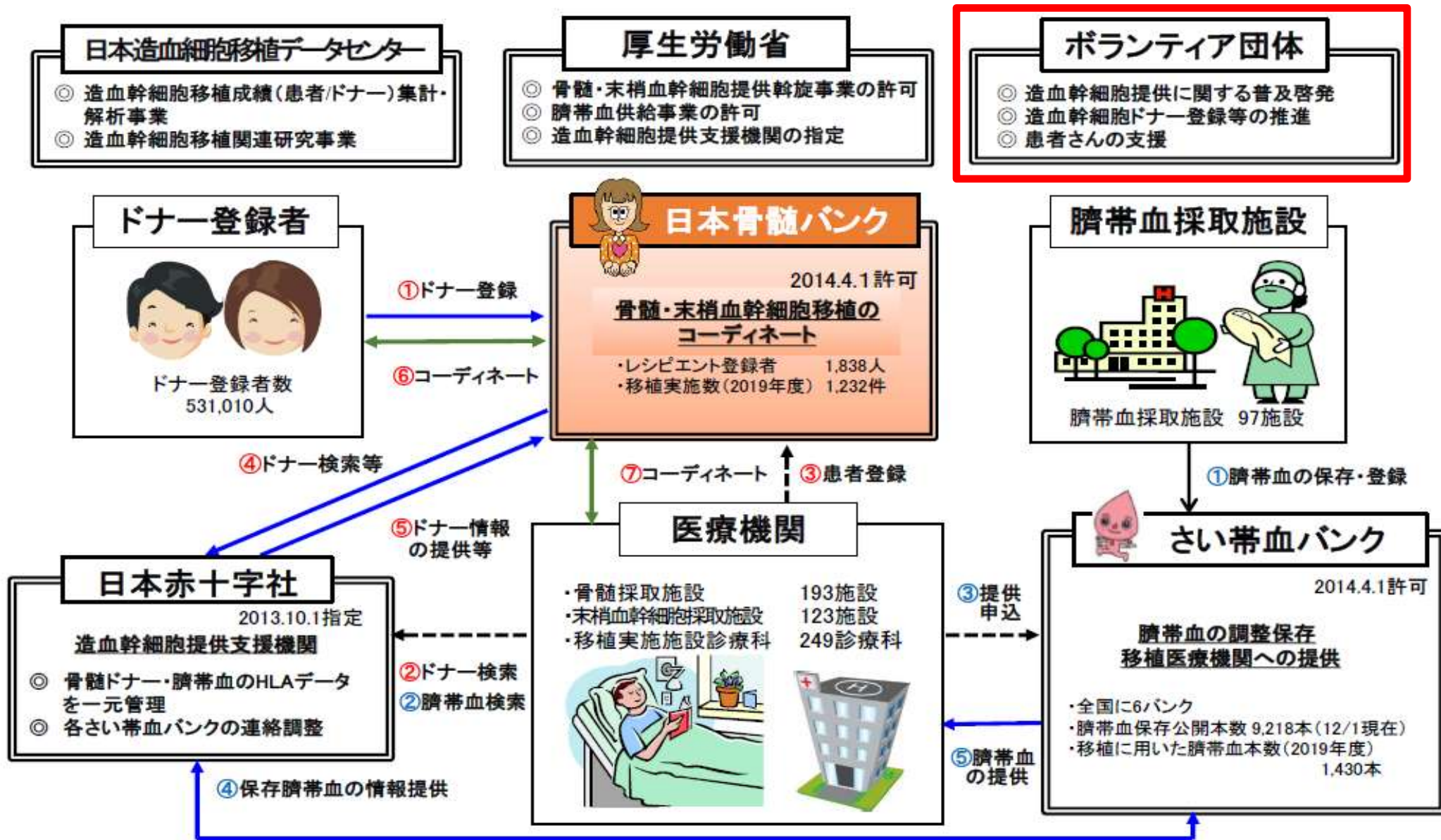
◆骨髄バンクに登録している患者さん（国内）の**約60%弱**しか移植を受けられていません。
全ての患者さんが移植を受けられるように、
一人でも多くの方の**ドナー登録が必要**です。



造血幹細胞移植の実施体制

日本骨髓バンクと全国骨髓バンク推進連絡協議会

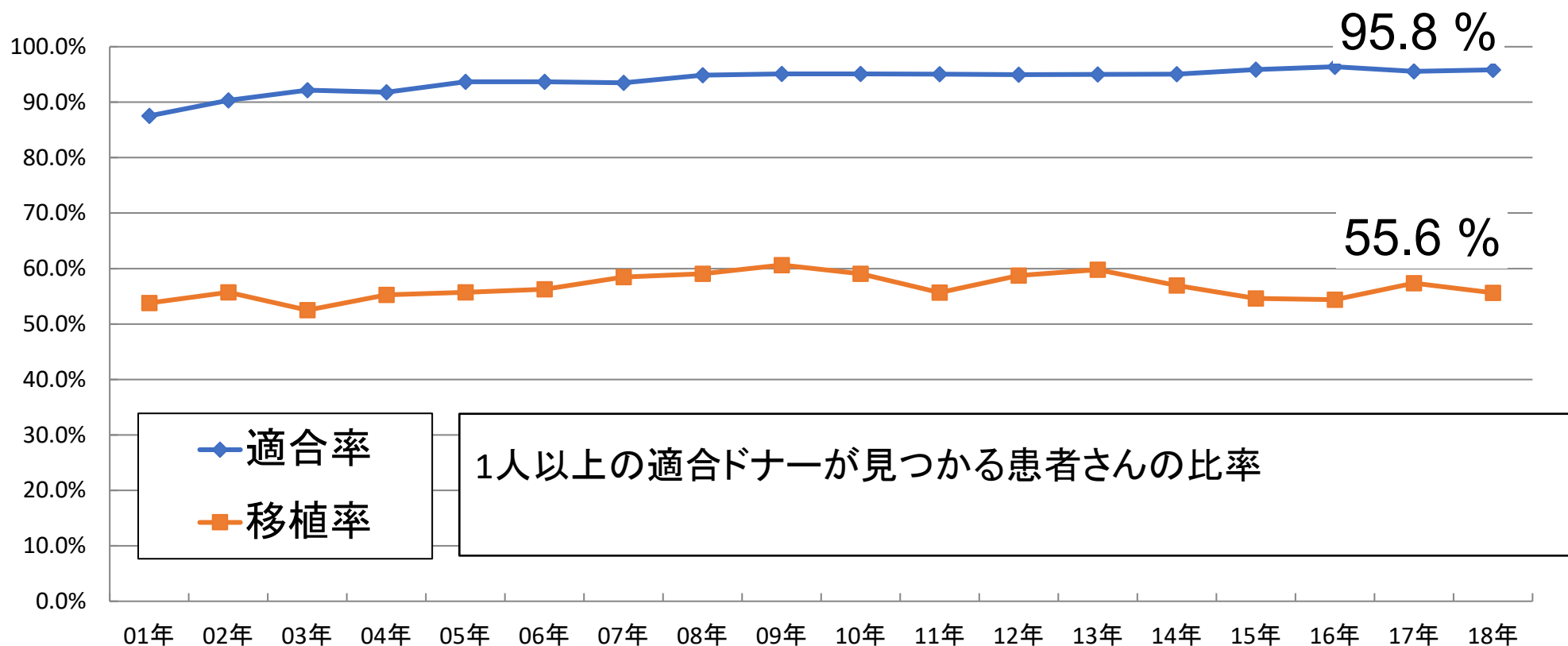
21年2月2日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料





国内患者のHLA（白血球の型）適合率と移植率

日本赤十字社、日本骨髄バンク調べ



※移植率は、年間の新規患者登録数に対する移植数（国内ドナー＋海外ドナー）の割合

◆日本骨髄バンクを介して移植を希望した患者さんの約60%弱しか移植を受けられていません。



バンク移植が必要な患者さんの約6割しか、移植に至っていない

移植を待つ患者さん**1,822**人に対して、
行われた移植は**1,086**人※2
約2人に1人しか移植を受けられていないのか...

2025.2 日本骨髄バンクから入手



新規患者登録数
1,822人※1



骨髄提供
769件



末梢血幹細胞提供
317件

国内患者移植率※ 推移



※患者登録数に対する移植数（国内ドナー+海外ドナー）の割合

一人でも多くの患者さんが、最適な時期に移植を受けられるように

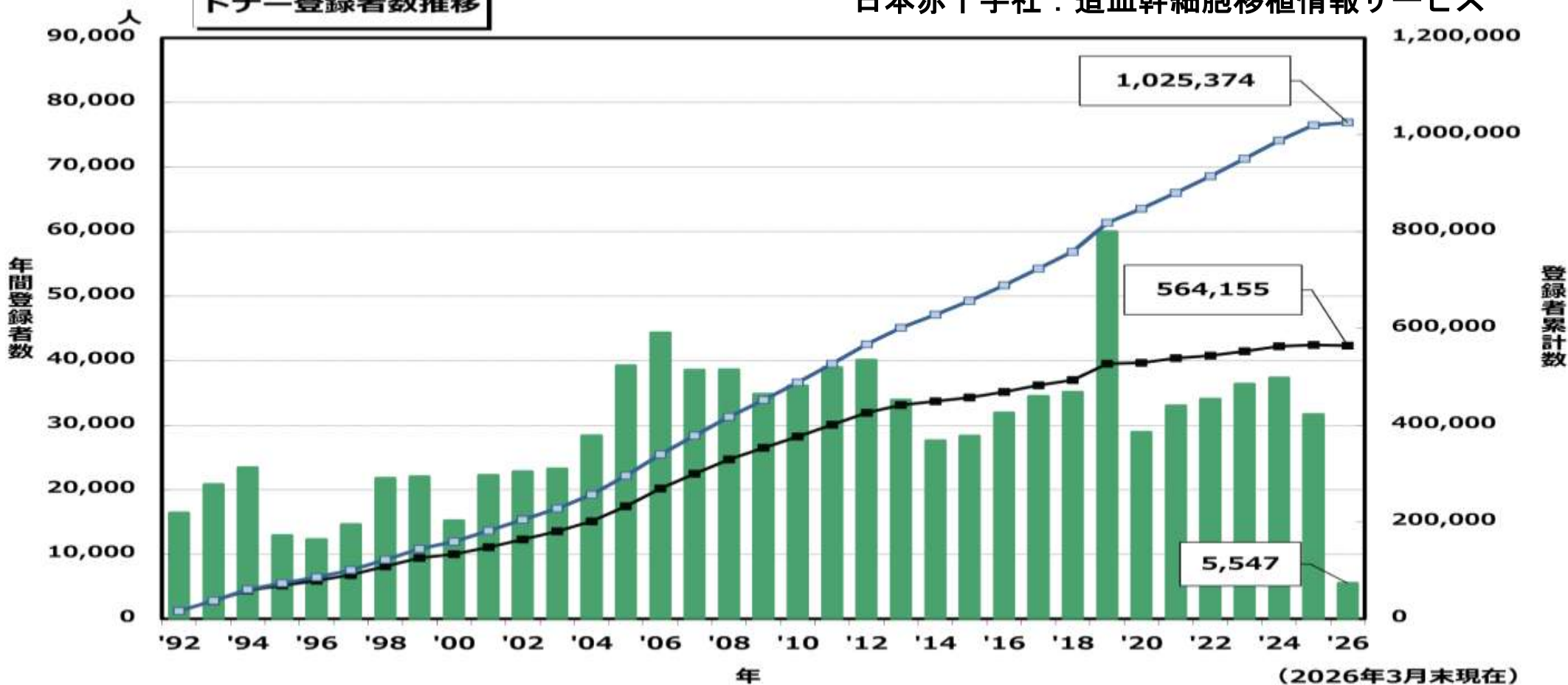
◆日本骨髄バンクを介して移植を希望した患者さんの**約60%弱**しか移植を受けられていません。



全国のドナー登録者数実績

ドナー登録者数推移

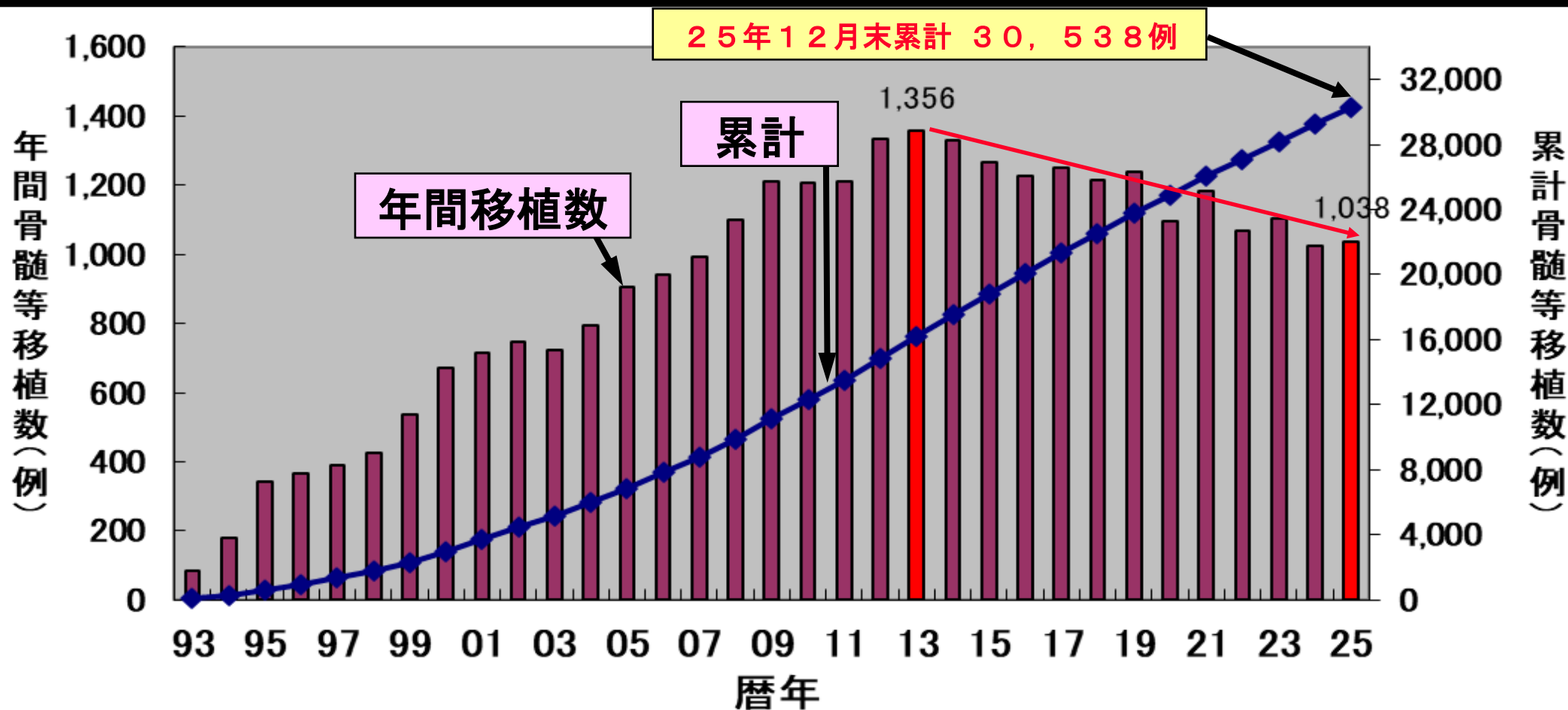
日本赤十字社：造血幹細胞移植情報サービス



- ◆06年以降、広告機構広報が無くなった影響等で15年まで減った。
- ◆19年は池江璃花子さん効果で激増。20年はコロナ禍で減。
- ◆26年3月末、累計564,155人。



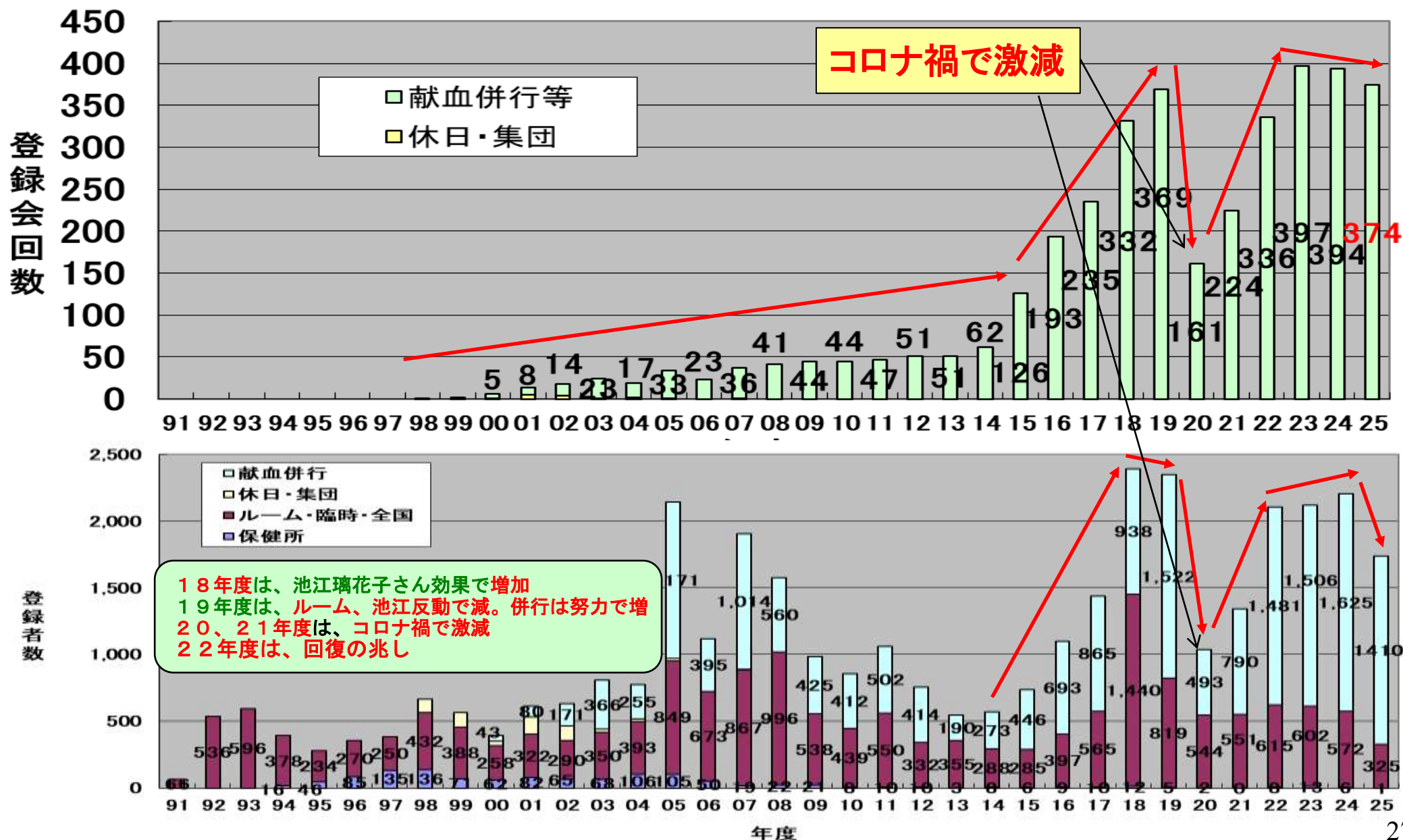
全国の骨髓・末梢血幹細胞移植実績



◆年間移植数(採取実施数)(暦年)は、13年に**過去最高**
(**1,356例**)を更新。その後、**さい帯血移植**の増加等の影響も
あり**減少傾向**。25年12月末、**累計30,538例**。



千葉県の年度別登録者数と登録会回数



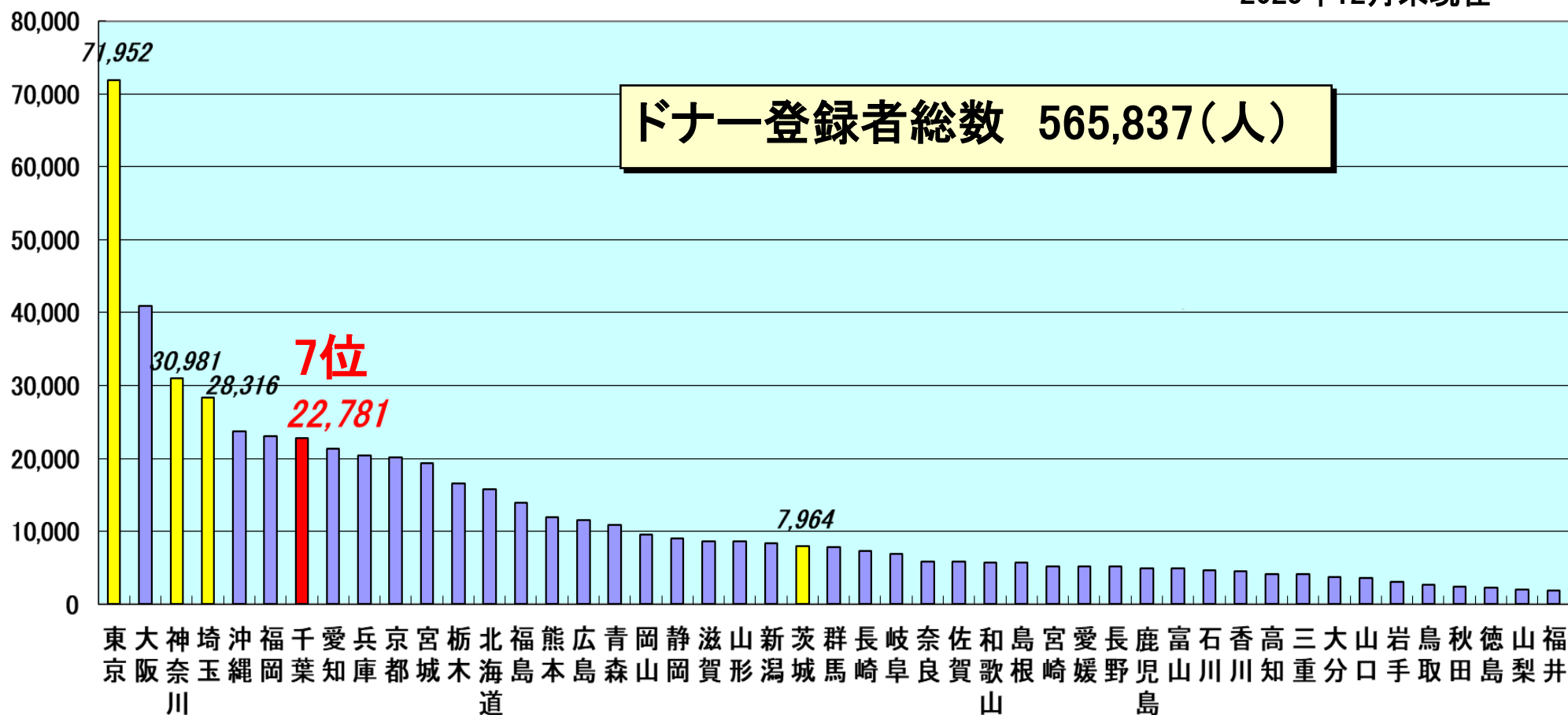


都道府県別 ドナー登録者総数

2025年12月末現在

ドナー登録者総数 565,837(人)

登録者総数(人)



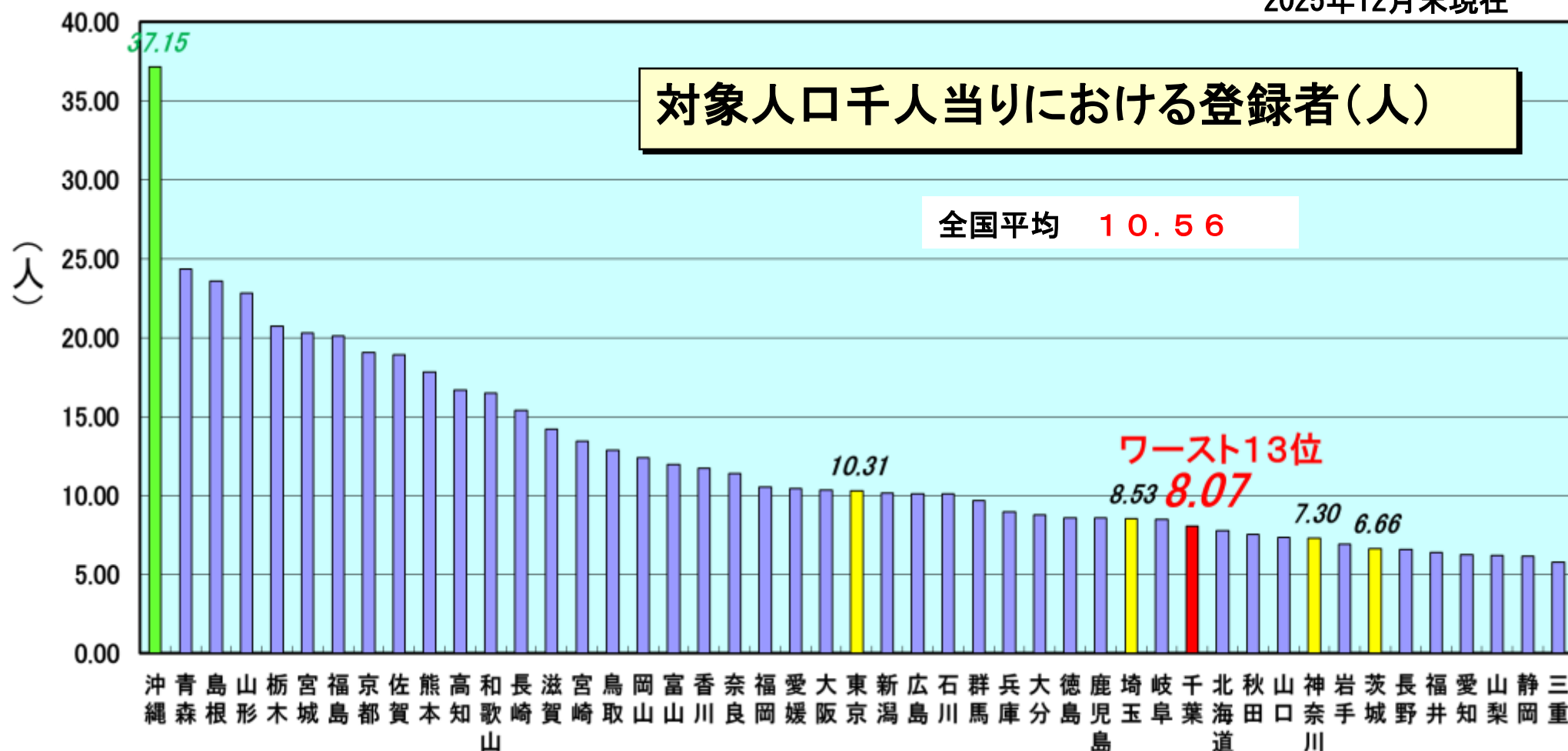
◆千葉は23年・24年8位。25年7位。

◆東京1位変わらず。神奈川3位、埼玉4位、茨城23位。



都道府県別 ドナー登録者割合比較

2025年12月末現在

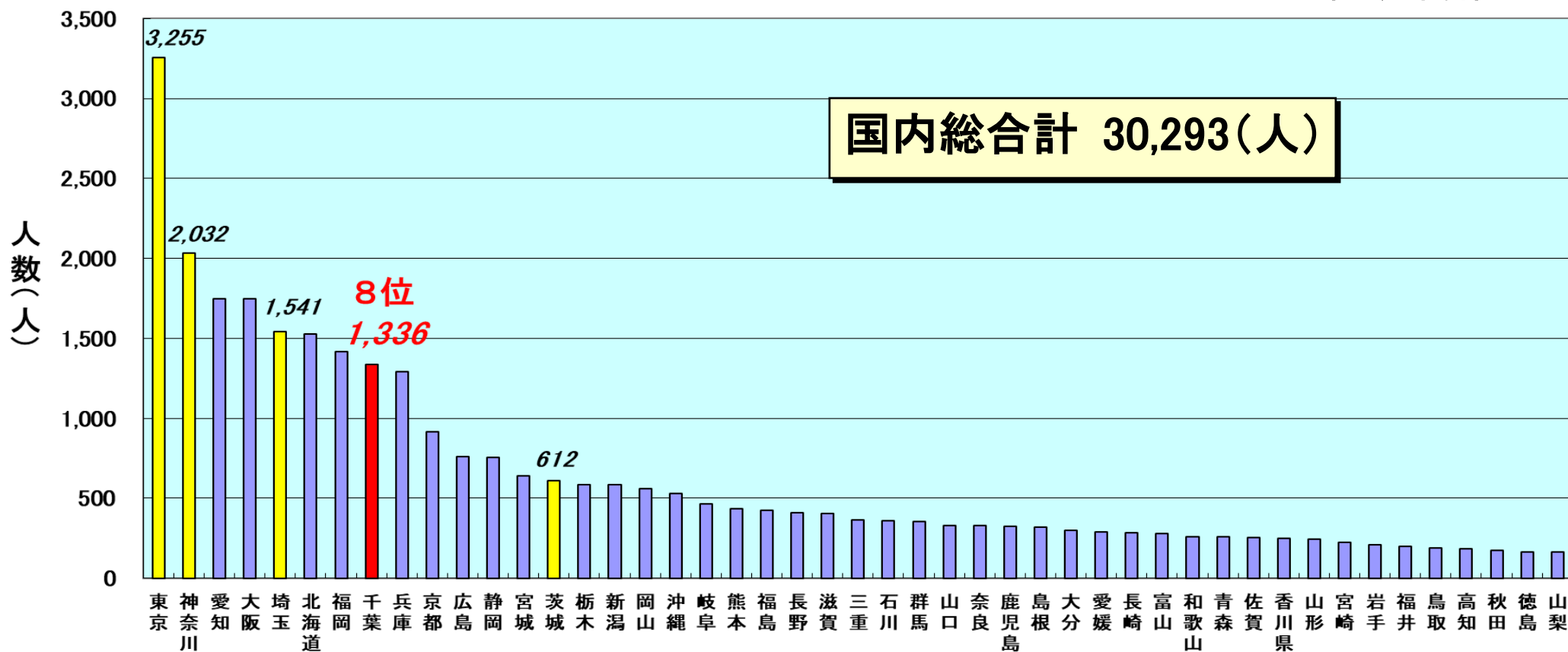


- ◆千葉県は、24年はワースト同12位。25年は同13位。
- ◆沖縄は、他を凌駕する 1位 (37.15) 継続。



都道府県別 骨髄液総提供者数

2025年12月末現在



◆千葉県の骨髄液総提供者数は、13～22年度は、9位。
23、24年度、25年度は8位。



2025年度(令和7年) 第35回総会

(25. 5. 11 船橋勤労市民センターで開催)

会場の船橋市勤労市民センター



梅田会長挨拶



北村美事務局長24年度業務報告



円東司会の進行



活発な質問と意見交換



梅田会長の講演





骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会

(25. 11. 24 成田市文化芸術センターで開催)

精進料理(光輪閣)



林家十八さん、桂右女助師匠の落語



ドナー、移植患者さんによる体験談



三戸 素子さん、小澤 洋介さん、
高田 匡隆さんの演奏



終了後の記念撮影



成田山公園の紅葉



◆精進料理112名、入場者241名、協賛店30社と盛況だった。



アクアラインマラソンで説明会、普及啓発 (24.11.10)

薬務課テント前で記念撮影



スタート応援、約17,000人の走者



風船で普及啓発



木更津市民体育館のイベント会場



ゴール直前のコーナー



表彰式





2025年度 千葉の会開催「いのちの輝展」

25.4.29～5.25 富里市立図書館



25.7.8～7.29 茂原市立図書館



25.8.19～8.31 佐倉市夢咲くら館



25.9.2～9.12 佐倉市役所



25.10.6～10.17 千葉県庁



開催日	展示会場
25.4.8～4.22	富津市立図書館
25.4.29～5.25	富里市立図書館
25.7.8～7.29	茂原市立図書館
25.8.6～8.17	佐倉市南図書館
25.8.19～8.31	佐倉市夢咲くら館
25.9.2～9.12	佐倉市役所
25.10.6～10.17	千葉県庁
25.10.20～10.31	イオンモール船橋
25.11.5～11.13	みんなの賑わい交流拠点 コンパス（香取市）
25.12.2～12.16	八街市立図書館
25.12.17～12.28	市原市中央図書館

◆25年度は11箇所で開催予定。 24年度は12箇所で開催。



ケア帽子の寄贈

手作りのケア帽子



君津中央病院に贈呈(22.12.14)



帽子を作成する日赤奉仕団の方々(26.3.24)



- ◆19年度は、9病院に500個寄贈
- ◆20年度は、8病院に510個寄贈
- ◆21年度は、10病院に580個寄贈
- ◆22年度は、12病院に646個寄贈
- ◆23年度は、12病院に620個寄贈
- ◆24年度は、12病院に550個寄贈
- ◆25年度は、11病院に520個寄贈



患者サロン 飾り寿司講習会 (16. 6. 26 全国協議会 事務所)

講師： 千葉骨髓バンク推進連絡会の西島一恵さん



出来上がった飾り寿司



ライオンズクラブ国際協会333-C地区研修会での講演

(25. 8. 28 千葉県赤十字会館)

会場の千葉県赤十字会館



梅田会長の講演の様子



**参加者
100名**



関東・甲信越地区ブロックセミナー(26.4.11)

会場の船橋市 勤労市民センター



埼玉の会 笠原会長の挨拶



神奈川の会 黒部さんの挨拶



千葉大学病院 輸血・細胞療法部部長 血液内科准教授 三村尚也先生の講演



◆講師 **三村先生**(1)、**千葉(20、主催)**、**東京(4)**、**神奈川(3)**、**埼玉(6)**、事務局(2)の**計36名**が参加。**活発な意見交換実施。**

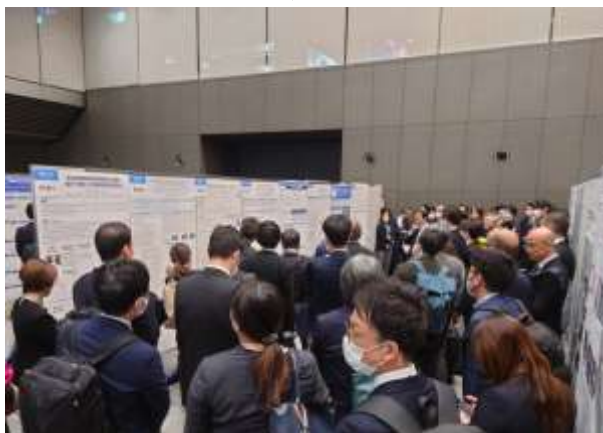


日本造血・免疫細胞療法学会に参加（東京国際フォーラム）

会場の東京国際フォーラム



ポスター発表を見る方々



全国協議会、各団体の展示ブース



全国協議会の展示ブース



シンポジウムでの大谷会長の挨拶



シンポジウムの様子



◆26年2月27日～3月1日、日本造血・免疫細胞療法学会
(東京国際フォーラム)でのポスター、**ブース、シンポジウム。**



東京マラソン2026でチャリティランナーの応援、接待

EXPO会場(東京ビックサイト)



力走するランナー



沿道での応援



ランナー接待会場(東京国際フォーラム)の様子



◆26年2月26日(木)～28日(土)の**東京マラソンEXPO**、3月1日(日)大会当日応援と東京国際フォーラムでのランナーの接待。



献血併行登録会（登録手続きの流れ）

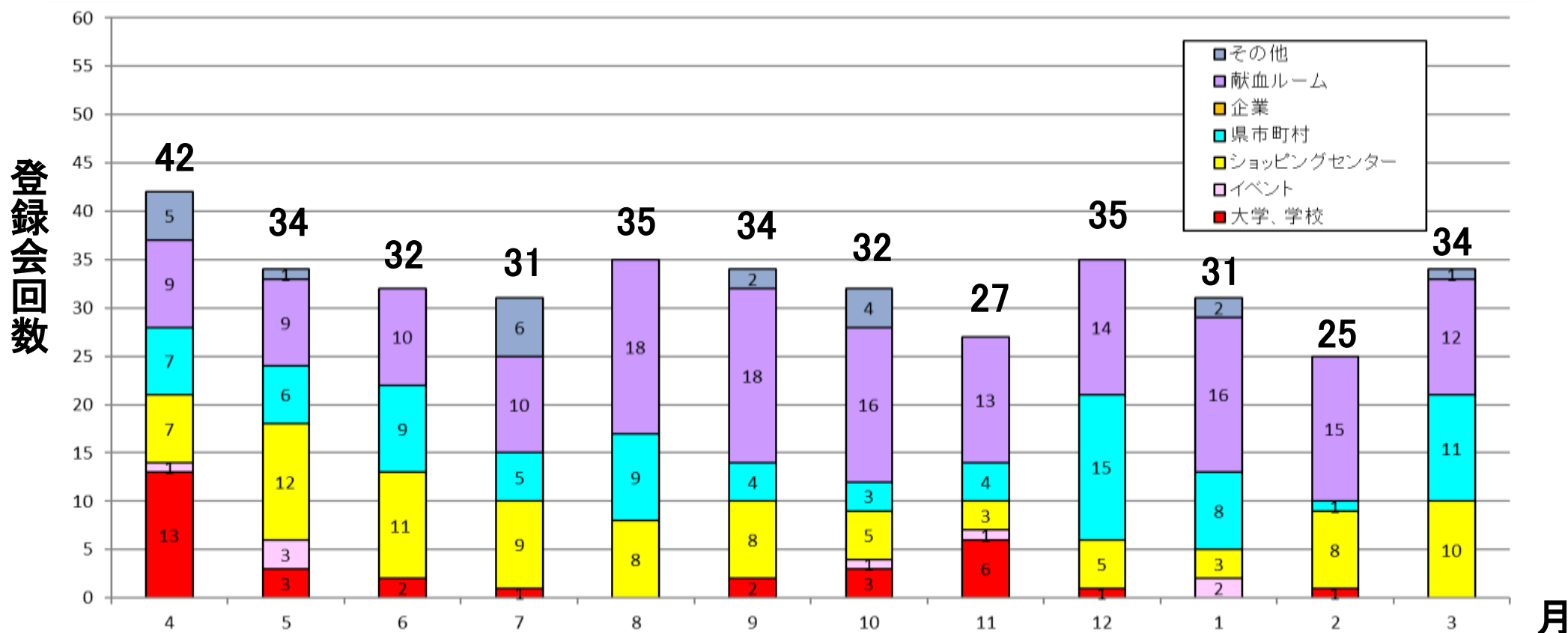
全工程で**15分程度**かかります

- ◆**受付**: 献血受付で献血手続き書類を記入後、登録受付をします。
- ◆**説明**: 説明員（**弊社ボランティア**）が、「登録手続き」記入要領を説明し、記入頂きます。
- ◆**問診、採血**: 千葉県赤十字血液センターの医師が問診をし、看護師が採血します。（献血用とは別に2ml採血して登録は終わりです）
- ◆**献血**: 血液センターの献血会場、献血車で献血下さい。
- ◆**ドナーカード**: 説明終了時にお渡しします。
（万が一問診で不適と判定された場合は返却下さい）





24年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



◆24年度の登録会は、**394回**実施。献血ルームを多く行った。
(東京雪祭の2回含む)

◆献血ルーム**160回**、ショッピングセンター**89回**、県市町村**82回**、
大学**32回**、他**31回**。



千葉県主催の「ドナー登録説明員養成講座」(25.12.11ホテルプラザ菜の花)

ホテルプラザ菜の花



薬務課富田副課長のご挨拶



日本骨髓バンク 小畑さんの講義



梅田の講義



ロールプレイング



ロールプレイング



◆ 4 回目の養成講座に11名が受講し、10名が資格取得。



25年度 千葉の会主催のドナー説明員研修会の様子

津田沼献血ルーム



梅田の講義



津田沼献血ルーム



登録会実習、ロールプレイング



◆26年1月27日(火)に津田沼献血ルームで開催。2名が受講。



イベントと登録会

〈イベント会場で〉

千葉骨髓バンク推進連絡会

SNOWBANK PAY IT FORWARD 2025（東京雪祭）で登録会と普及啓発 (25. 11. 8～9 代々木公園)

ポスター



登録説明



ゲレンデに多くの観客が



全国協議会のブース



舞台の様子



- ◆登録者 **49** 名、献血者 **357** 名。
- ◆千葉、東京、神奈川、埼玉のボランティア延べ**31** 名が協働。



献血ルームでの献血併行登録会

モノレールちば駅献血ルーム
(25.4.4、12.3)



松戸献血ルーム(25.12.22)



津田沼献血ルーム(25.4.14、26.1.27)



柏献血ルーム(25.6.20、26.1.14)



船橋献血ルームフェイス(25.6.9、10.15、10.21)





献血併行登録会

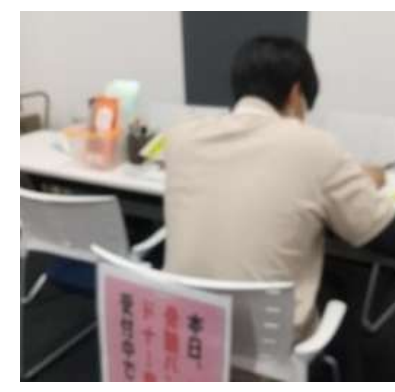
千葉骨髓バンク推進連絡会

県市町村役場、保健センターでの献血併行登録会

千葉県庁(25.12.24)

千葉市役所(26.1.27)

栄町役場(25.4.168) 白井市役所(25.6.16)



船橋市役所
(25.12.25)

香取市役所
(25.6.26)

旭市保健センター
(25.12.8)

袖ヶ浦市保健センター
(26.1.29)





ショッピングセンターでの献血併行登録会

カインズ市原
(25.5.25)



ゆりまち袖ヶ浦駅前モール
(25.6.22)



イオンモール成田
(25.6.29)



ユニモちはら台 (25.7.13)



イトーヨーカドー四街道店(25.7.21)



ショッピングセンター
サンモール (25.6.29)



イオンモール幕張新都心
(26.1.18)





大学、学校での献血併行登録会

千葉大学(25.4.9、25.11.17)



植草学園短期大学(25.6.11)



帝京平成大学(25.9.9)



木更津工業高等専門学校
(25.6.17)



千葉県消防学(25.9.4)



麗澤大学(25.12.8)



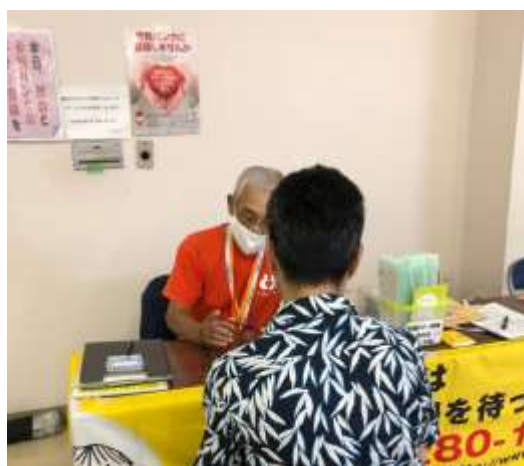
秀明大学
(25.11.19)





その他会場での献血併行登録会

成田赤十字病院(25.9.30)



末日聖徒イエス・キリスト教会 松戸ステーク(25.11.8)



幕張メッセ 東京オートサロン(26.1.10、11)



館山病院(26.1.6)



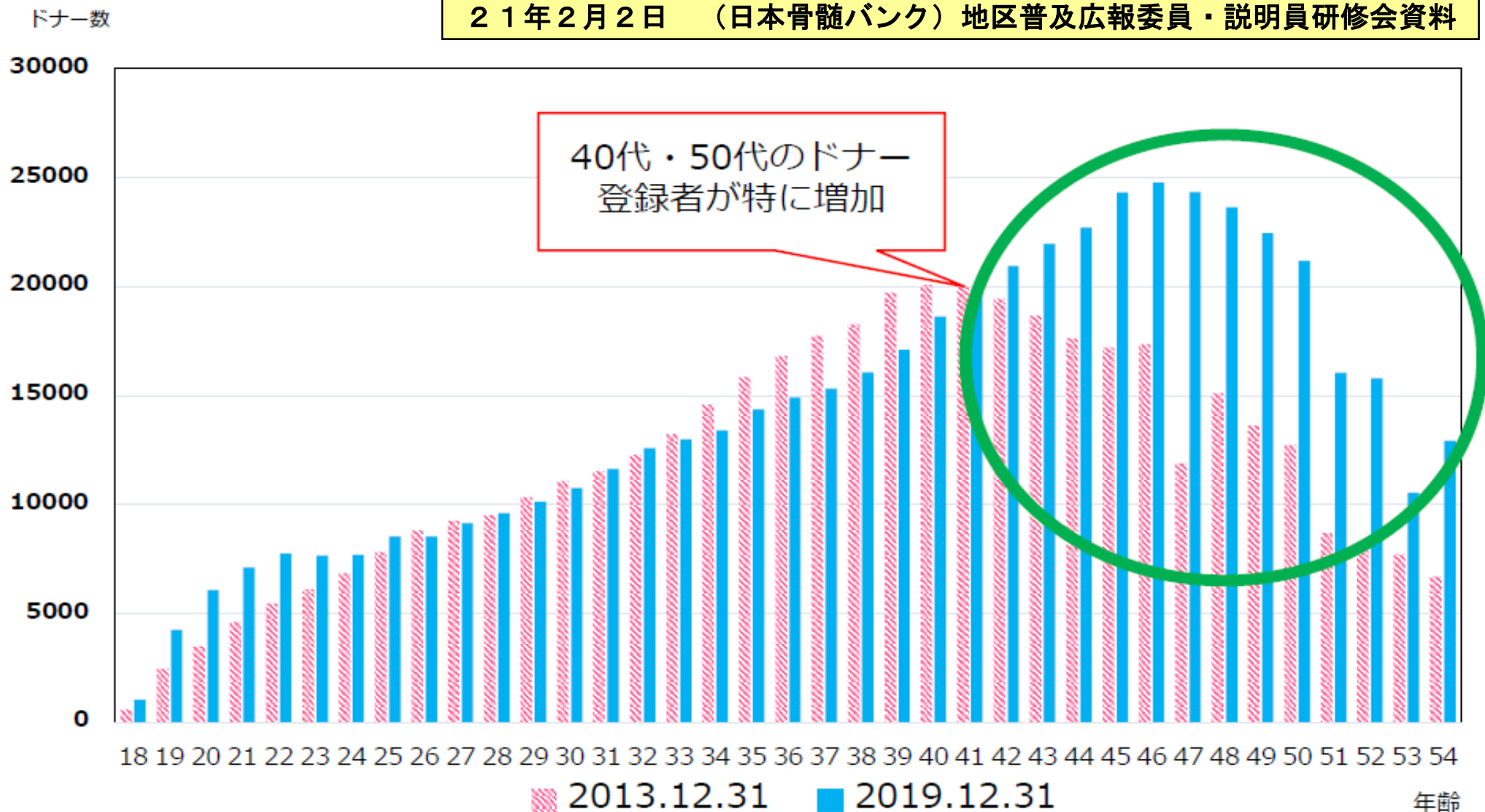
みんなの賑わい交流拠点
KOMPAS(25.12.5)





ドナー登録者の年齢比較

21年2月2日 (日本骨髄バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料



若年層への取り組み強化が必要

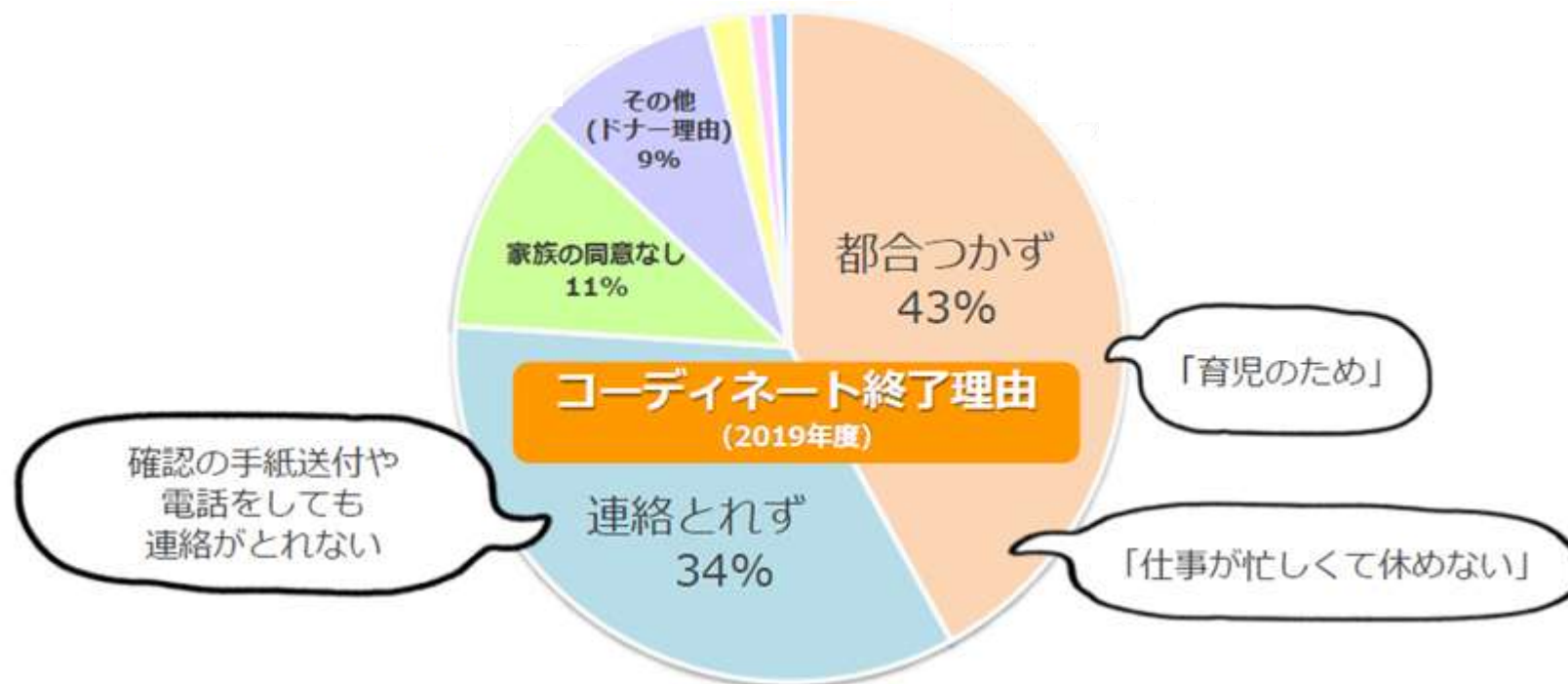


骨髓バンクの今後の課題

課題

骨髓移植を希望した患者さんの **60%弱** しか移植を受けられない。

ドナーの原因





課題への方策

方策(ドナーが原因の対応)

◆都合つかず ⇒ 休めない

ドナー助成制度導入、ドナー休暇制度導入

◆連絡取れず ⇒ ドナーリテンション **提供意思**の維持

「献血者」住所登録データの確認許諾

◆家族の同意なし ⇒ **普及啓発**、広報等の強化

◆その他

*ドナー登録者減(**ドナ一定年増**) ⇒ **登録会増**

***健康理由** ⇒ **若年層ドナー増**

大学での登録会増



ドナー登録取り消し者数の推移

22年2月22日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料

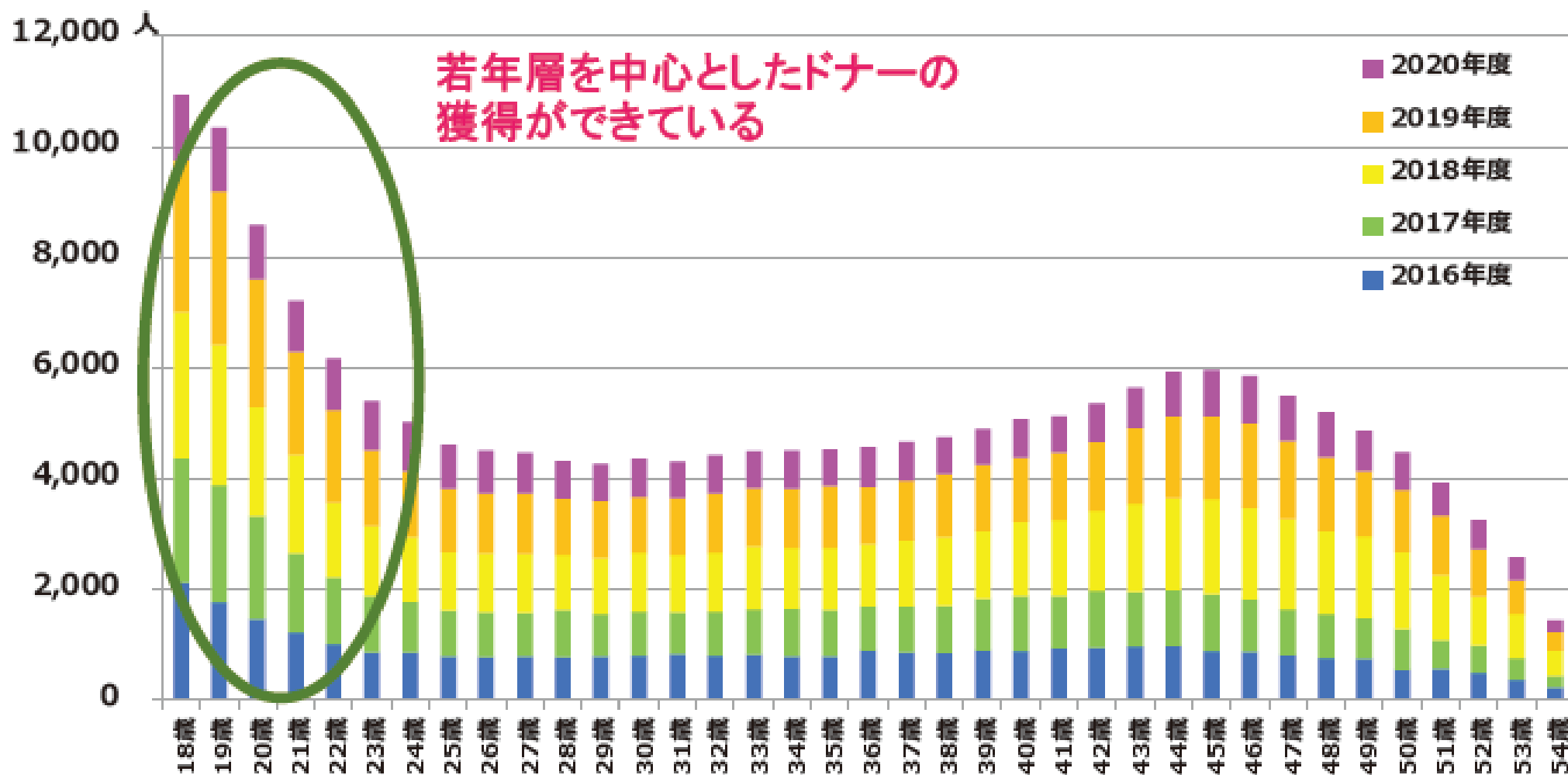
近年は、毎年2万人以上が取消。2020年度は、純増979人





年齢別新規ドナー登録者数(全国計)

22年2月22日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料





千葉県のドナー助成制度の現状

◆ドナー助成制度とは

平成23年度に新潟県加茂市で初めて導入されて以来、全国の自治体が導入する骨髓提供者を支援するための**骨髓移植ドナー支援事業助成金制度**。

◆千葉県の助成補助制度の概要

- * 同制度(事業)は、**17年8月4日導入**され、**17年4月**に遡って適用された。
骨髓・末梢血幹細胞移植の促進のため、**①ドナー及び②そのドナーの従事する事業所**に対して市町村が助成金を交付した際に、その金額の**1/2を補助**する制度。

◆千葉県内のドナー助成制度導入の市町村(23年5月5日で)

*** 54市町村、全てが導入。導入率100%。**

- * 千葉市: ドナーに10万円/回、ドナー休暇を取得した場合会社に**1万円/日(最大7日)**
- * 船橋市: ドナーに**2万円/日(7日上限)**、ドナーの勤務する会社に**1万円/日(7日上限)**

◆千葉県内の最近14年間の骨髓提供者数 (概ね人口約12万人当たり1人の提供者)

24年度:67名、23年度:62名、22年度:58人、21年度:63人、20年度:61人、19年度:46人、
18年度:46人、17年度:52人、16年度:47人、15年度:43人、14年度:55人、13年度:55人、
12年度:46人、11年度:44人



千葉県でのドナー休暇制度導入について

◆ドナー休暇制度

骨髄・末梢血幹細胞提供をする場合、提供までに**8回前後**、**平日**の日中に医療機関へ出向きます。その日数を、ドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先がその休日を**特別休暇**として認めるのが「ドナー休暇制度」です。

◆ドナー休暇制度導入活動

- * 18年5月に**千葉県知事名**で県内の**経済関係5団体**に「ドナー休暇制度導入の整備・広報」について依頼書を出状いただきました。
- * 18年5月に**薬務課長名**で**県内各商工会議所会頭**に「ドナー休暇制度導入の整備」について依頼書を出状いただきました。
- * 千葉の会では、上記を受けて「**千葉県経営者協会**」を訪問し、導入依頼をしました。その結果同会の**会報442号**に休暇制度の記事が掲載されました。他に「**千葉県中小企業家同友会**」、「**千葉県中小企業団体中央会**」、「**千葉県商工会議所連合会**」を訪ね、導入依頼をしました。
- * 22年6月に再度千葉県知事名で**県内経済関係5団体及び商工会議所会頭**に「ドナー休暇制度導入の整備」について依頼書を出状いただきました。
- * 千葉の会では引き続き**県議会議員、市議会議員**と面談し、経済関係団体への働き掛けをお願いしています。

◆全国で一般企業の導入は、**929社**。
(26年3月末現在) でほとんど進んでいない。



【トライアル3】3000検体での検証および本格導入まで

【目的】

トライアル2の内容を踏まえシステム開発を実施。
システム開発後、主にオンライン登録を希望するドナーを対象として現在の新規登録者数の1/10規模を想定し運用開始。

【対象】3000検体（一般のドナー登録希望者）

【実施事項】

【体制】想定フローに沿って実施
【期間】令和7年10月～令和8年3月

【検証】

- ①運用手順
- ②必要人員
- ③効果的なリクルート方法
- ④検査結果受領方式
- ⑤造血幹細胞提供支援機関（日本赤十字社）へのドナー登録情報（HLA検査結果含む）連携
- ⑥説明資料が適切であるか

【想定フロー】

JMDPよりドナーへ検査キットの送付 → ドナーにて献体採取 → 検査会社



令和8年度～ 本格導入



千葉県造血幹細胞移植推進協議会 (26. 2. 19 ZOOM) での要望

25年度は、県主催の説明員養成講座受講者11名の内、10名が説明員資格を取り**献血併行登録会**に参加いただいています。
これらの方への**ご支援**を今後もお願い致します。

1. **ドナー休暇制度**導入については、**県内経済関係団体**へ都度働きかけをお願いしたい。
2. 5回目となる千葉県主催の「**ドナー登録説明員養成講座**」を開催いただきたい。
3. 上記により、定着する説明員を育成し、登録会への**説明員派遣の複数化**を図りたい。
4. 千葉の会の**説明員は高齢化**が進んでいるので、若返りを支援いただきたい。
5. **献血併行登録会の改善**について引き続きフォローいただきたい。

(1) 登録会場の**効率運用と改善**

- ①**コストパフォーマンスの高い会場**での、効率の良い開催
- ②**若い献血者**が多い献血会場での登録会開催増
- ③**新たな会場、大学、ショッピングセンター、企業、イベント会場を開拓**いただきたい

(2) 献血時の**登録会開催の声掛け**の更なる徹底